

資格の大原

大原税理士受験生のための
情報誌

WIN

2024
受験対策 Vol.1

Certified Public Tax Accountant
information magazine

特集

確認テストの活用方法！



確認テストの活用方法

第1回の確認テストが実施された科目も多いと思います。確認テストを受験された方はどのように活用していく予定でしょうか。また、これから受験する方はどのように活用しようとしていますでしょうか？確認テストとは、それまでの学習内容がしっかりと定着しているかどうかを把握するために定期的に行われるものです。合格するためには「ただ漠然と確認テストを受ける」のではなく、「確認テストをフルに活用すること」が必要不可欠となります。1ヶ月～2ヶ月に一度しか訪れないこの機会をみすみす逃す手はありません。確認テストをフル活用するために何をすればいいのか？をご紹介します。

1 事前準備編

確認テストに限らず、学生時代の試験や他の検定試験を受験したときは、必ず準備をしたうえで受験されていたかと思います。したがって、通常の講義の復習に加えて、確認テストに向けての対策が必要になります。おおよそ実施の1週間前くらいに学習計画表を確認して「第何講から第何講までが確認テストの範囲なのか」を確認し、準備に入りましょう。範囲の確認が終わったら、その範囲の問題を学習計画に落とし込みましょう。初めての確認テストであれば、範囲がそれほど広くありませんので、もう一度問題を解答する余裕はあると思いますが、回数を重ねるにつれて範囲は広がります。特に計算項目は範囲が広がり続けますので、範囲の問題をすべて解答するのは限界があります。ですから、日々の復習の際にとっている記録(○、△、×など)を参考に、もう一度解答すべき問題を決めましょう。または、問題を確認し、解答手順を頭の中でイメージし、解答の流れが合っていれば次の問題へ進み、逆に、「どうやって解くのか」が思い出せない場合にはテキストの再読み込みを行い、問題を手を動かして解答するようにしましょう。ここで注意したいのは、最終的に大事なものは「問題を解けるようにすること」です。「テキストをすべて理解すること」ではありません。「テキストをすべて理解」しないと問題が解けない訳ではないですよ。理論の場合でも書けるようにすることを優先し、書けるようになったらテキストの読み込みに移りましょう。

2 受験編

最初にお伝えしたいことは、合格される方は必ず受験しているということです。確認テストを受験することによって、①現時点での全国における自分の順位を知ることができる、②本試験さながらの雰囲気味わうことができる、③自分の弱点を知ることができるため、とても重要な意味を持っています。この重要な確認テストは何十回、何百回と実施されるわけではありません。その貴重な確認テストを「復習が追いついていないから」等の理由で欠席されてしまう方がいらっしゃいます。貴重な機会を失っているため、非常にもったいないです。なぜもったいないのか。それは「合格される方は皆、必ず受験している」からです。教室講義に出席している方は、受講クラスを振り替えても結構です。映像で学習されている方は、必ず解答して提出しましょう。多少時期が遅れてから提出頂いても構いません。大切なことは、どんな状況であれ、必ず受験して、今の自分の位置を把握することが、合格のためには重要となります。

3 受験後の見直し編

確認テストの受験が終わったら、直後にどのような行動をするのかということも大事です。一説によると、人の記憶は20分を経過すると約60%しか覚えておらず、1日経過すると約25%しか覚えていないと言われています。確認テストの復習も早期復習が肝要です。受験後は記憶が新しいですので、ミスの分類が明確にしやすいです。したがって、ミスの分類から始めましょう。得点につながらなかったミスは次の3種類に分類できます。

① ケアレスミス

② (理解しているが) 解き方を忘れていることによるミス

③ 理解不足によるミス

①については、深刻に考える必要がないようにも思えますが、それは大きな間違いです。ケアレスミスというのは一人ひとり違います。このケアレスミスの情報は、言わば自分だけの財産です。これをないがしろにせず、しっかりと問題、解答解説、テキスト等に「なぜ間違えたのか(電卓ミス、数字の見間違い等具体的に)」「何と何を勘違いしたのか」等、間違いノートに残しておき、通常の復習のときにも確認するようにしましょう。

②については、準備不足が主な原因ですので、解法を頭の中に出来る限り深く刻み込んでください。今後忘れやすい項目になり得る可能性が高いので、要注意の項目となります。

③については、まずは解答を確認しながら解けるようにします。それでも解き方が定着しない場合には、テキストに戻って間違えた論点の読み込みを行いましょう。その際に問題集に間違えたことがわかる印(例えばテキストのページ等)を書いておくと、次回解いた際、再度理解できなかったときに、すぐにテキストの該当箇所にとどりつけるようにできます。

次に、次回の確認テストに向けた対策として、以下の3つを意識して実施しましょう。

(1) 解答の終わった確認テストを綴じて、間違いノート化する。

皆さんが解答した問題には、問題へのメモ書きなど、皆さんの弱点がたくさん載っています。例えば「メモ書きが間違っている」「この項目で苦戦している」「わからなかった箇所は解けなかったのでメモが一切ない」等の弱点が一目瞭然です。これらは「解き直し(又は見直し・確認)が終わったから捨ててしまう」のではなく、これらを問題と解答解説、答案用紙を1カ所に綴じて記録しましょう。そうすることで、この期間で習った範囲の中で、しかも大事な部分の間違いノートが完成します。この教材を通学、通勤時間を使って「もう間違えない」という自信がつくまで毎日確認してください。弱点を明確にし、対策を打つことが合格のために必要なことです。

(2) 間違えた箇所がテキストのどこに記載されているのか探し、印を付ける。

確認テストは既存の学習範囲の復習となります。間違えた箇所がテキストのどこに記載されているか探し、どんどん印(付箋等)を付けておきましょう。付箋を付けた箇所は、自分が間違えた箇所、苦手な個所となります。毎日その部分を確認し、100%完璧!となったらはがしましょう。確認テストごとにテキストへ貼り付ける付箋の枚数が増えてくると思いますが、同時に、一枚でも早くはがせるように意識するとよい刺激になると思います。また、間違えた理由をあわせてメモしておくと、テキストを見直す際に効率化が図れます。

(3) 得点分布表を活用する。

確認テスト後、全国の大原で実施された確認テストの結果が「得点分布表」にまとめられます。「全国で何位なのか」「今現在、上位何%に入っているのか」という情報は、競争試験(相対試験)である、税理士試験では非常に有用な情報です。得点分布表は必ず確認し、自分の立ち位置を把握しましょう。

〈最後に〉

確認テストの活用術を紹介しましたが、学習するうえでは毎回の復習が基本となります。問題集を繰り返し解き、ミスを分析して、問題集やテキストに書き込む、「講義の復習」の延長が「確認テスト」であり、「確認テスト」の延長が「本試験」なのです。合格するために必要なことは、毎回の講義の復習を行い、確認テストを必ず受験し、常に自分の立ち位置を理解し、そして、それを継続することです。



～求人情報～

資格の大原の税理士講座で講師として

私たちと一緒に働いてみませんか？

興味のある方はコチラをご確認ください!!

<https://www.o-hara.ac.jp/kyujin/>

O-HARA Career Staff

税理士法人・税理士事務所の種類(規模別)

全国には約3万の税理士法人・税理士事務所（会計事務所・公認会計士事務所なども含む）があります。職員数が数名の事務所から数百名の法人まで種類や特色は様々です。

税理士業界では、規模（職員数）によって大きく3つに分類することができます。今回はその3つの分類について簡単にご紹介いたします。

グローバル系【BIG4】

EY・KPMG・デロイトトーマツ・PwCの4法人を「BIG4」と呼んでいます。

これらの法人はそれぞれ、世界的会計事務所のメンバーファームとして日本での税務サービスを提供しています。

外資系企業や国内の上場企業とそのグループ会社などを主なクライアントとして、通常の税務業務の他に国際税務、税務コンサルティングといった専門性の高いサービスを組織的に提供しています。

国内大手・準大手

大手企業その他、中小企業、金融機関、公益法人や個人のクライアントも持っているため、様々な業種・法人形態の業務があります。

業務は、税務申告書の作成や税務相談をはじめ、M&Aや事業承継、相続、IPOといった各種コンサルティング業務など多岐に渡ります。

中小規模・個人

中小企業や個人事業主などが主なクライアントとなり、税務申告書の作成や税務相談、記帳代行などを中心に、クライアントの特性に合わせて各種業務を行います。特定の業種に特化したサービスを展開する法人・事務所もあります。

Q.「税理士事務所」と「税理士法人」は何が違うの？

A.『経営形態』が違います。

税理士が『個人事業主』として経営している場合は「事務所」と名乗ります。（ちなみに、「税理士事務所」は税理士法に定められている名称で、「会計事務所」は俗称です。名称による違いは特にありません。）

対して、平成13年の税理士法改正にて、2名以上の税理士によって『税理士法人』が設立出来るようになりました。税理士法人になると支店展開ができるようになり、各地に拠点を作ることが出来ます。

形態の違いはありますが、2つとも税理士が運営している点では本質的な違いはありません。

いかがでしょうか？一括りに税務といっても働く場所によって経験出来る業務が異なります。規模の大小に関わらず、ご自身がどんな税理士を目指していきたいかを軸として、視野を広げて探していくのがポイントです。

こまったときは!!

一人で悩まずに就職・転職サポートのプロ、大原キャリアスタッフへご相談ください。



就職・転職に関するご相談は

大原キャリアスタッフ

<https://www.o-hara.ac.jp/career/>

※エリアによりサービス内容が異なります。

次回のVol. 2号は12月発刊の予定となります。

WIN

ウィンVol.1

●第28巻第1号通巻230号 ●2023年10月14日発行

●発行所/大原簿記学校 〒101-0065東京都千代田区西神田1-2-10



最新の受験情報満載!

大原の税理士メルマガ 毎月無料配信中!

メルマガ登録はこちらから→<http://www.o-hara.ac.jp/goukaku>

大原 メルマガ 検索